

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	雪国たべごと推進事業
事業主体 (連絡先)	雪国たべごと研究室 (稲見朋子 080 - 3009 - 1325)
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,429,340 円 (うち支援金: 1,740,000 円)

事業内容

栄村を中心とした北信地区の「たべごと」(食文化やそれに伴う技術)を伝承するため、地域の食材や技術、それに関わる文化歴史等を学ぶ観光イベントを開催した。

- ・山菜イベント 栄村小滝地区
令和5年5月17日 オンライン及び実地
18日 実地のみ
- ・マタギイベント 栄村秋山地区
令和5年9月16日17日 1泊2日で開催
- ・きのこイベント 野沢温泉村、飯山市
令和5年11月15日 実地開催



【目標・ねらい】

- ①雪国の食べごとの周知
- ②食肉業者とマタギのつながりづくり
- ③知識、価値を知る人の増加

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①北信地域の食を周知できた人数 (インスタフォロワー数×イベント回数×10%で計算)

稲見朋子 フォロワー 937 人×3 回×10% 281 人
蓮池陽子 フォロワー2283 人×3 回×10% 684 人
楠田裕彦 フォロワー6608 人×1 回×10% 660 人

- ②食肉事業者と秋山郷マタギとのつながり 1 事業者
- ③山菜、きのこの採取から調理まで学ぶ北信地域の参加者 (知識の習得) 3 名
- ④山菜、きのこの採取から調理まで学ぶ北信地域外の参加者 (価値を実感する人物の増加) 4 7 名

※自己評価【A】

【理由】

- ・3 イベントともにほぼ満員にて開催、その分野のプロフェッショナルの方々からも多く参加いただけた。
- ・進行、段取りなどまだ不慣れなところも多いので改善しながら活動を続けていきたい。

今後の取り組み

3 イベントともに、今回で得られたコミュニティを生かして、より内容をふみこんだものにしていきたい。

新規のお客様はもちろん、2023 に来ていただいたお客様にも継続して、この地域の山の魅力、それを活用してきた地域の文化の魅力を、それぞれの生活に落とし込む方法とともに伝えたい。

山菜: ペルーに滞在経験があり、世界の保存食に詳しく、「食べつなぐレシピ」「たすかる料理」などの書著、按田優子さんと連携して、料理教室を企画していきたい。

マタギ: 2023 は現地を周り、マタギの定義や概要も含め話して伝えることが多かったが、今回は少し実践的なことも踏まえ、山で参加者とともに調理して、より良い食べ方を模索するような内容にしていきたい。

きのこ: 2023 でお招きした講師の北沢さんを引き続きお呼びして、壮大なシェフの世界観を引き続き深掘りする。また、今回はこの地域の方々にも知ってもらえるようにしていきたい。(近隣地域からの参加者は参加費を少し低く、近隣価格などを設定するなど。)

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある